



茨城共同アクション

戦争の準備でなく、平和への準備を!

岸田政権による「戦争する国づくり」を許さず、
平和憲法に従った政治を実現しよう!

10月19日(木)午後4時から、毎月19日に取り組まれている「戦争法の廃止茨城アクション」が、水戸駅南口のデッキで行なわれました。

主催した「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」の田中代表は、臨時国会開会の情勢に触れながら、「5年間で43兆円もの軍事費を使って戦争する国づくりは許さない。私たちが声をあげ岸田政権を追い詰めよう」と呼びかけました。

茨城労連の岡野事務局長は、県の最低賃金の現状に振れて、「911円から42円アップで953円に改定された。しかし、この物価高の中で納得できない。早急に全国一律で1,500円を要求する」と訴えました。一般労組の大曾根さんは、子どもの頃に受けた戦争体験を語りながら、「戦争は絶対にやっ

いけない」と訴えました。ちょうど下校途中の高校生も多く、立ち止まって耳を傾ける姿が見られました。

平和委員会の木村代表理事は、「戦争する国づくりに反対するとともに、戦争はいやだ!」の声を大きく上げよう。声をあげれば世界は、社会は、日本は大きく変わります。行動しましょう。選挙に行きましょう。」と訴えました。日本共産党県委員会の田谷副委員長は、東海第二原発安全工事で、防潮堤工事に重大な瑕疵があるという深刻な問題を明らかにして批判しました。

最後に、百里平和公園に9条の碑を設置する「実行委員会結成会議」を終えた県平和委員会の篠原事務局長が挨拶しました。用意した100セットのチラシやティッシュをすべて渡し切りました。



一般労組の大曾根さん

「戦争ではなく 平和を!」晴天の中つくば市大清水公園で開催!

「10.19市民アクションつくば集会」に50人結集!

《荒井 陽一・つくば市平和委員会》



参加団体は、「憲法9条の会つくば」、「つくば市平和委員

プログラムでは、午後12時から1時まで、各団体のリレートークとデモ行進が企画され、岸田政権への批判等、各団体がそれぞれの思いを訴えました。

会」、「新日本婦人の会つくば支部」、「土浦民主商工会」、「全日本年金者組合つくば支部」、「軍拡NO!女たちの会茨城」、「日本科学者会議茨城支部」です。

立憲政連では、「つくば・市民ネット」、「日本共産党つくば市委員会」、「新社会党」の各議員さんから、連帯のご挨拶をいただきました。

その後、参加した50人で、30分間ほど市内デモ行進を行いました。デモ行進の中、沿道の若者からもシュプレヒコールがあり、一層盛り上がりしました。

■かすみがうら平和の会では、10月に新たに1人の方が入会しました!

かすみがうら平和の会は、かすみがうら市議会議員のHさんを迎えました。立花和雄会長の弟さんと同級生ということもあり、様々な話題で長年交流がありました。かすみがうら平和の会では、今夏、笠間市にある特攻隊に関する資料が展示されている「筑波海軍航空隊記念館」などを見学する「戦跡巡り」を企画し、このツアーにお誘いしました。残念ながら、所用で欠席したそうですが、ツアー参加の理由について「父親が、特攻隊に志願していた。終戦により出撃することはなかったが、どんなところなのか知りたかった」ということでした。Hさんの入会によって議員定数16人のうち、3人が会員とのこと。「戦争と平和」パネル展の取り組みや議会請願、市長懇談などでご協力をいただけるでしょう。

新たに3人が入会 うれしいニュース!
800人回复まで、35人!

■常陸太田平和の会では、ご夫妻が入会されました!

常陸太田平和の会は、Kさんご夫妻を迎えました。昨年入会された女性会員は、毎年、8月15日の「平和の鐘撞き」にも来ていただいていた小学校の先生。ご友人の女性教員に声をかけてもらいました。「入会してもよい」というご返事をいただき、早速ご自宅を訪問。残念ながら畑仕事に出ているという夫君には会えませんが、ご夫妻で入会していただけることになりました。

ご主人は定年退職後、後継者がいないために管理が難しくなった田畑を耕作しています。ご高齢の農業従事者数人から10畝余を引き受けています。これまでも食料生産や農業政策、平和問題等に強い関心を持っていたとのこと。定例事務局会議に参加してもらいたいと期待しています。

1次募集で入学希望者全員を受け入れる「大転換」を!

子どもたちの抱えている困難を解決するために! 県立高校入試問題で県教育委員会と懇談

「民主教育をすすめる茨城県民会議」(略称:県民会議)は10月17日(火)県庁22階教育委員会室において、「県立高校入試の『大転換』を求める要請書」にもとづいて高校教育課と懇談しました。県民会議は県平和委員会、茨高教組や新婦人県本部、茨城教育研究所などから8人が参加、県教委からは高校教育改革推進室入試制度担当室長補佐など5人が出席しました。

要請書のポイントは、①来春実施される県立高校入学者選抜学力検査の2次募集において「学力検査」(英数国3教科のテスト)を実施しないと決めた経過を明らかにする②1次募集でも5教科(英数国社理)のテストを実施せず、県立高校入学希望者全員を受け入れる「大転換」を図る、そのために「県民会議」などを含めた第三者委員会を設置するなどです。

①について:1次選抜で不合格になった生徒が、もう一度学力検査を受ける負担は大きい。受検者の負担を軽減するために、学力検査をやらないことにした。これは、中学校、高校から「2次募集での学力検査をなくしてほしい」という要望をもとに「入試制度検討委員会」で検討し、入学者選抜方法協議会に諮り、定例県教育委員会(県教育長と6人の教育委員で構成)で決めた。

②について:「県民会議」は、「受検生の負担を軽減する

ために2次募集では学力検査(テスト)を中止した。それならばもっと負担の大きい1次募集でもテストを中止し、「本人の希望と調査書、面接により希望者全員を入学させる“大転換”を」と主張しました。県教委は「第三者委員会の設置は考えていない」、という回答に終始しました。

■県立高校希望者全員入学は大人の「決断」から

毎週日曜日に配達される新聞には学習塾からの数種類の広告が挟まれています。そこには「茨城県立中高一貫校そっくり模試」や「全国統一中学生テスト無料招待」などの文字が躍っています。

入塾するためには多額の費用がかかります。県立高校の7割余は、1次募集では定員を満たさず、2次募集をしています。すでに学力検査を必要とせず、県立高校入学希望者を各校に割り振る「知恵」と大人の「決断」が求められています。子どもたちの学力「格差」や、貧困、不登校や登校拒否、いじめ、自殺問題などの困難を解決するためにも、希望者全員を入学させるという“大転換”を図るべきです。



岸田内閣

若者の支持率、ついに10%!!

低迷している岸田内閣の支持率が、軒並み20%台まで下がっています。10月の調査では、朝日(29%)、毎日(25%)、読売(34%)、共同(32.3%)、時事(26.3%)と軒並み過去最低を更新。政権に甘いといわれる読売や共同でも下がっています。岸田首相は支持率アップを狙い、内閣改造では女性閣僚を5人登用し、9月までとしたガソリン補助金も延長しました。旧統一教会(現・世界平和統一家庭連合)に対し、解散命令を東京地方裁判所に請求しました。それでも支持率は「過去最低」を記録しました。

■「増税メガネ」と呼ばれる岸田首相!

岸田政権に対して「経済対策が期待できない」の声が約7割に達しています。ネットで、岸田首相は「増税メガネ」と揶揄され、この呼称は朝日新聞でも取りあげられました。



本人も気にしているといいます。岸田首相は「減税アピール」で迷走していますが、5年間で43兆円の軍事費増額を打ち上げたことで、「岸田首相=増税」のイメージが固定したようです。

■「若者」と「女性」の支持が特に低い、岸田内閣!

時事通信の10月調査では、「18~29歳」の支持率は10.3%です。「30歳代」も18.1%と低くなっています。全体の内閣支持率は26.3%と過去最低ですが、そのなかでも、「若者」と「女性」の支持が特に低いのが岸田内閣の特徴です。衆院解散どころか、「早期退陣もあり得る」という状況です。

お知らせ

第2回常任理事会の開催《案内》

オンライン併用。事前に連絡をお願いします。

日程 11月3日(金) 午後1時30分から4時まで

場所 水戸共同ビル2階 水戸市白梅3-13-8

議題 ・様々な課題での街頭宣伝活動 秋のチラシ配布 等
・仲間をふやす取組み

■「日本平和大会パンフレット」で学習会を行います。パンフレットをご持参ください。1冊200円です。